

研究成果展開事業 大学発新産業創出プログラム
プロジェクト推進型 SBIR フェーズ1 支援
2025 年度事後評価結果

グラント番号	JPMJST2553
研究開発課題名	IoT ネットワーク環境におけるリアルタイムモデル学習基盤の研究開発
研究代表者	大阪大学 産業科学研究所 櫻井保志
研究開発成果の概要	急激に増大する AI 処理により Beyond 5G で求められる高速・大容量・低遅延の課題を高速モデル学習技術により解決する。これまでの技術を高度化し、計算速度と精度を向上させるとともに、機器の故障や部品劣化の予測、生産性向上のための製造業 DX 向け AI ソリューションを開発した。加えて、スタートアップ設立を視野に企業ヒアリングを重ね、市場ニーズの検証を通じて事業化戦略を具体化した。

総合評価

技術面・人材育成・企業連携のいずれの面でも非常に優れた取り組みである。日本の特長を生かすフィジカル AI の分野で、重要な基盤技術として事業化にも貢献していくものと期待できる。今後は既存の共同研究先との関係性や知財の整理も踏まえ、新たなビジネス・事業創出に向けたビジネスモデルをより具体的に検討していくことを期待する。

以上